

2020年5月12日

各 位

会社名 株式会社 佐賀共栄銀行
代表者名 取締役頭取 二宮 洋二
コード番号 0583
問合せ先 総合企画部長 平山 修
(TEL 0952-22-7578)

2020年3月期通期業績予想の修正並びに 2020年3月期第4四半期 有価証券評価損に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期通期（2019年4月1日～2020年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、2020年3月期第4四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたためにお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2020年3月期通期業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（2019年5月14日発表）(A)	百万円 5,280	百万円 290	百万円 190	円 銭 8.69
今回修正予想(B)	5,896	98	485	22.22
増減額(B-A)	616	△192	295	
増減率(%)	11.6	△66.2	155.2	
(参考)前期実績 (2019年3月期通期)	5,549	403	256	11.75

業績予想の修正理由

2020年3月期通期の業績予想につきましては、国債等債券売却益の計上等により、経常収益は大幅に増加しました。

ただ、本年1月以降の新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による金融市場の混乱等に伴い、保有する有価証券の評価損が増加しました。翌期以降の業績への影響を考慮し、一部有価証券の売却を実施したほか、基準に則り株式の減損処理を実施いたしました。この結果、経常利益につきましては大幅な減少となりました。

当期純利益につきましては、所有不動産売却による売却益を特別利益に計上したため大幅に増加しました。

以上の要因により、経常収益、当期純利益については前回予想を上回る見込み、経常利益については下回る見込みとなったため、業績予想を修正するものです。

●有価証券評価損について

【2020年3月期第4四半期における有価証券評価損】

2020年3月期第4四半期会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで） の有価証券評価損の総額（= A - B）	196百万円
（A）2020年3月期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の有価証券 評価損の総額	311百万円
（B）直前四半期（2020年3月期第3四半期）累計期間（2019年4月1日 から2019年12月31日まで）の有価証券評価損の総額	114百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、第1四半期、第3四半期は洗替え方式、第2四半期
第4四半期は切放し方式を採用しております。

※ 当行の決算期末は、3月31日です。

※本資料に記載されている業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき作成
したものであることから、実際の業績は今後の要因によって予想数値と異なる結果と
なる可能性があります。

以上